

2社の採択反対決議

市民集会に350人参加

【八重山】子どもと教科書を考える市民集会（同実行委員会主催）が17日、石垣市の大川公民館で開かれ、八重山内外から350人（主催者発表）が参加した。参加者は石垣市、竹富町、与那国町の中学校教科書を決める教科用図書八重山採択地区協議会が沖縄戦における集団自決（強制集団死）で革命を明記しない自由社、育鵬社の教科書を採択するのではないかと懸念し、両社の歴史・教科書の採択に反対する大会決議を採択した。

講演した山口剛史琉球大学准教授は、横浜市の自由社出版教科書採択に中心的な役割を果たした「教科書を良くする神奈川県民の会」の木上和富運営委員長が、両社の教科書を採択するた

め、調査員による教科書の序列化禁止、無記名投票の導入などを推奨していることを指摘した。山口氏は「1982年に日本軍の『侵略』を『進出』に書き換えさせたところから続く教科書攻撃が八重山に向かった。政治が教育行政に介入する問題が横濱市をはじめ全国で起りつつある」と指摘した。

【八重山】子どもと教科書を考える市民集会に、2007年に開催された教科書検定意見撤回を求める県民大会で渡嘉敷島の集団自決の実体験を語った吉川嘉勝さん(72)が参加し、講演した。吉川さんは八重山教科書採択問題について「日本全体の右傾化を感じる」と話し、自由社、育鵬社が県内で採択される可能性が浮上していることを憂慮した。

吉川さんは渡嘉敷島の集団自決について、軍隊が手りゅう弾を配布したことや隊長命令で住民が1カ所に集められた状況を説明し「集団自決は日本軍がいなければ起こらなかった。県民大会後は大江・岩波裁判の判決も確定し、真実が何だったかは結論が出ている」と話した。

吉川さんは「当時の軍国主義の教育を復活させるようなことはさせてはいけない」と語り、集団自決の史実を伝える教科書の採択を願った。

かー転

たのか…

川下りのスリルを楽しめ、船頭の技術が試される場所だが、浜松市の船頭見習いの男性は「何度も通ったが、危険は感じなかった。事故は信じられない」と首をかしげた。

（取材）2011年8月17日



自由社、育鵬社の教科書採択に反対し、拳を上げる参加者
—17日、石垣市の大川公民館

大城真教育長
教科用図書八重山採択地区協議会をめぐる一連の問題について、大城浩真教育長は17日、県教育委員会（中野吉三郎委員長）で同協議会の状況と県教育庁の対応を報告した。大城教育長は「ぜひ協議会委員一人一人がいわゆる見識をしっかりと持って採択してもらいたい」と述べた。

○…サッカー女優で初優勝した日「ニッパン」のメゆかりのある選手、神奈川県、横浜市、千葉県を表彰した。
○…東京都は、府中市出